

# 授業改善推進プラン【体育科】

谷戸第二小学校

## 1 日常の学習における課題分析

### <技能>

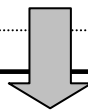
休み時間に外遊びをする児童とあまり遊ばず運動をしない児童の二極化現象が生じている。その結果、日常生活の経験の差が、体力(能力)の差となって表れている。走・跳の運動、投げる、捕るなど体の基本的な動きにおいても児童の得手不得手は顕著に表れており、運動感覚や体力の低下が見られる。今年度の新体力テストの結果を基に本校の児童の実態をさらに的確に把握していく。

### <関心・意欲・態度>

「体育の授業は好き」という児童は多く、意欲的に取り組む児童も多い。

### <思考・判断>

児童はルールを考えたり、運動を工夫したりする活動を協力してできるようになってきているが、健康や安全について、関心はあっても、日常生活を振り返ってそれを確実に理解している児童はあまり多くない。



## 2 授業改善の方策

### 【指導計画】

児童の心身の発達や特性を考慮し、運動の特性に系統性をもって指導計画をたてる。

**言語活動の充実について、集団的活動や身体表現などを通じてコミュニケーション能力を育むとともに、運動やゲームの練習や作戦を考え、その改善の方法などを児童が互いに話し合う活動を大切にする。**また改善の方法を互いに話し合う活動を取り入れ、論理的思考力を育む授業にしていく。

### 【指導方法】

#### ◆児童が体全体を使って運動できるような活動・遊びを取り入れる

運動感覚や体力を高めるためには、体をたくさん使い、児童が思い切り運動できるような活動・遊びを授業に多く取り入れていくことが大切である。「体育が苦手」だと思う児童はその運動をするにあたっての必要な運動感覚が不足しているからである。

- ・遊び感覚のある簡単な場の設定
- ・ルールを簡易化
- ・力一杯活動できる時間の確保
- ・低学年から多様な運動遊びを多く取り入れる。

#### ◆指導と評価の一体化

児童一人一人が自らめあて(課題)をもって取り組み、その課題が達成できるような学習を展開し、評価をしていく。児童が自ら次のめあてをもつことにつながる。→学ぶ喜びを味わわせる体育学習

- |            |                 |               |
|------------|-----------------|---------------|
| ・教材研究      | ・スモールステップの授業    | ・学習カードの活用     |
| ・教師の声かけの工夫 | ・ルールや場の工夫       | ・児童のかかわり合いの充実 |
| ・十分な運動量の確保 | ・満足感や達成感が得られる授業 | ・楽しい体育        |



## 3 補充的・発展的な学習指導

段階的な場を用意して場に応じた具体的な運動のめあてを明確にもてるようにし、個の能力に適した場で運動するとともに、体力の高まりを実感できるようにする。

また、体育的活動を通して多様な運動経験を構築したり、授業の中で運動の日常化につながるような学習を展開したりして、運動する機会を増やすきっかけづくりを行っていくようにする。

健康・安全面については、発達段階的に計画的に指導していき、日常生活に生かせるようにする。